

令和3年度 国立大学イノベーション創出環境強化事業

採択大学及び配分額

令和3年9月30日ガバニングボード決定の令和3年度採択大学及び配分額は、以下のとおり。

国立大学運営費交付金 重点支援①¹及び②²の大学

順位	大学名	配分額
1位	お茶の水女子大学	3億円
2位	浜松医科大学	2億円

国立大学運営費交付金 重点支援③³の大学

順位	大学名	配分額
1位	名古屋大学	5億円
2位	北海道大学	4億円

計4大学(配分総額 14億円)

¹ 主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

² 主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

³ 主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学を支援

令和3年度 国立大学イノベーション創出環境強化事業 配分額

令和3年9月30日
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」に基づき、国立大学イノベーション創出環境強化事業の令和元年度から令和3年度採択大学への令和3年10月の配分額を次のとおり定める。

合計9大学(配分総額 1,700 百万円)

令和3年度採択大学

大学名	配分額
お茶の水女子大学	300 百万円
浜松医科大学	200 百万円
名古屋大学	500 百万円
北海道大学	400 百万円

計4大学(配分額 1,400 百万円)

令和2年度採択大学¹

大学名	配分額
岐阜大学	40 百万円
九州工業大学	40 百万円
岡山大学	80 百万円
東京農工大学	40 百万円

計4大学(配分額 200 百万円)

令和元年度採択大学²

大学名	配分額
東京医科歯科大学	100 百万円
山梨大学	—
名古屋工業大学	—
千葉大学	—
東京工業大学	—

計1大学(配分額 100 百万円)

¹ 採択から2年目の大学には、年度の配分額の6割を4月に配分。審査・評価委員会でのフォローアップ審査に基づき、10月の配分額を、留保分(年度の配分額の4割)の全額とするか減額するか決定する(減額分は他大学の配分に乗せ)。令和3年度は、減額の対象となる大学はない。

² 採択から3年目の大学には、特に優れた実績がある場合に配分。